

記載例

見積内訳書の記入において、鉛筆等の容易に消去可能な筆記具を使用した場合は、入札無効となります。

- ・工事番号及び工事等名は、提出した入札書と一致させてください。
- ・工事番号については、入札公告、指名通知又は見積依頼に工事番号の表記がない場合は、記入不要です。
- ・次に該当する場合は、入札無効となります。
 - ①工事等名の記載間違い、又は工事等名が未記入
 - ②工事番号の記載間違い、又は工事番号が未記入（入札公告、指名通知又は見積依頼に工事番号の表記がない場合を除く。）

見積内訳書

工事番号	〇〇△第〇〇〇号		工事等名	〇〇〇〇〇〇工事	
工種・種別等	数量	単位	金額 (円)	備考 (細別内訳等)	
〇〇〇〇工	120.00	m ³	2,588,900		
△△△△工	80.50	m ³	677,950		
××××工	198.50	m	1,242,800		
直接工事費 計			4,509,650		
共通仮設費	1.00	式	847,900		
現場管理費	1.00	式	1,062,980		
一般管理経費	1.00	式	980,000		
端数処理			▲530		
計			7,400,000		

- ・記載する内訳の内容は、積算を行ったことが明らかとなるように記入してください。
- ・工種・種別等は、設計図書等の記載内容（設計図書に記載されている大分類程度）を参考に記入してください。
- ・工事の場合は、直接工事費の内訳を3工種（3行）以上記入してください。
 なお、工事場所が複数箇所又は複数路線におよぶ場合は、それぞれの箇所又は路線ごとに記入してください。
- ・業務委託の場合は、業務の内容に応じた内訳内容を記入してください。
- ・内訳書に記載する工種の内容は、設計図書及び工事内容から適宜選択し記入してください。
- ・記載内容が、内訳書の意味をなさないほど簡略な内容のものが入札執行者が判断した場合は、入札無効となります。

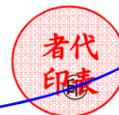
【入札無効と判断する事例】

- ①工事の場合において、直接工事費の内訳を3工種（3行）以上記載していない場合
- ②業務委託の場合において、調査、設計等に当たる部分が「〇〇業務 一式」と1行のみしか記載されていない場合
- ③複数路線がある工事又は業務委託で、路線ごとの1式表記しか記載されていない場合

・端数処理の金額が千円以上の場合は、入札無効となります。

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住所 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇
 商号又は名称 〇〇〇〇株式会社
 代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇



・見積内訳書の合計額と入札金額が一致していない場合は、入札無効となります。

- ・入札者の住所、商号又は名称、代表者の役職名及び氏名を記入し、代表者印を鮮明に押印してください。
- ・内訳書が複数枚となる場合は、合計額が記載してあるページにのみの記入・押印で差し支えありません。
- ・代理人入札の場合でも、代表者印のみ押印してください。この場合、代理人名の記入及び代理人印の押印は不要です。
- ・次に該当する場合は、入札無効となります。
 - ①住所、商号又は名称及び代表者氏名のいずれかが未記入
 - ②住所、商号又は名称及び代表者氏名のいずれかが入札書の記載事項と一致していない
 - ③入札者（代表者）印が押印されていない
 - ④入札者（代表者）印の印影が不明瞭

施工箇所が1箇所の工事の記載例

【例1 ○有効となる例】

見 積 内 訳 書

工事番号	22 契 第 1 号	工事等名	○○○○○線舗装工事		
工 種 ・ 種 別 等	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考 (細 別 内 訳 等)	
舗装工	1.0	式			
区画線工	1.0	式		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3工種以上の工種内訳が記載されているため有効な内訳書です。 ・ なお、内訳に記載する工種は、設計図書に記載されている大分類程度を参考にしてください。 ただし、大分類だけで指定された工種数とならない場合は、適宜中分類又は、小分類の工種を記入してください。 	
排水構造物工	1.0	式			
直接工事費計					
共通仮設費					
現場管理費					
一般管理費					
端数処理					
計					

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住 所
 商号又は名称
 代表者氏名

【例2 ○有効となる例】

見 積 内 訳 書

工事番号	22 契 第 1 号	工事等名	○○○○○線舗装工事		
工 種 ・ 種 別 等	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考 (細 別 内 訳 等)	
舗装工					
表層工	1.0	式		<ul style="list-style-type: none"> ・ 内訳として記載している工種が3工種以上あるため有効となります。 ・ なお、内訳に記載する工種は、設計図書に記載されている大分類程度を参考にしてください。 ただし、大分類だけで指定された工種数とならない場合は、適宜中分類又は、小分類の工種を記入してください。 	
路上再生路盤工	1.0	式			
雑工	1.0	式			
直接工事費計					
共通仮設費					
現場管理費					
一般管理費					
端数処理					
計					

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住 所
 商号又は名称
 代表者氏名

施工箇所が1箇所の工事の記載例

【例3 ×無効となる例】

見 積 内 訳 書

工事番号	22契第1号	工事等名	○○○○○線舗装工事		
工 種 ・ 種 別 等	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考 (細 別 内 訳 等)	
舗装工	1.0	式			
雑工	1.0	式		・内訳として記載している工種が3工種以上ないため無効となります。	
直接工事費計					
共通仮設費					
現場管理費					
一般管理費					
端数処理					
計					

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住 所
商号又は名称
代表者氏名

【例4 ×無効となる例】

見 積 内 訳 書

工事番号	22契第1号	工事等名	○○○○○線舗装工事		
工 種 ・ 種 別 等	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考 (細 別 内 訳 等)	
舗装工	1.0	式			
表層工	1.0	式		・内訳として記載している工種が3工種以上ないため無効となります。	
不陸整正工	1.0	式			
直接工事費計					
共通仮設費					
現場管理費					
一般管理費					
端数処理					
計					

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住 所
商号又は名称
代表者氏名

施工箇所が複数の工事の記載例

【例1 ○有効となる例】

見 積 内 訳 書

工事番号	22 契 第 1 号	工事等名	○○○○○外 2 路線舗装工事		
工 種 ・ 種 別 等	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考 (細 別 内 訳 等)	
○○○○○線					
表層工	1.0	式		・ 路線ごとに3工種以上の工種内訳が記載されているため有効な内訳書です。 ・ なお、内訳に記載する工種は、設計図書に記載されている大分類程度を参考にしてください。 ただし、大分類だけで指定された工種数とならない場合は、適宜中分類又は、小分類の工種を記入してください。	
不陸整正工	1.0	式			
区画線工	1.0	式			
△△△△線					
舗装工	1.0	式			
区画線工	1.0	式			
構造物撤去工					
直接工事費計					
共通仮設費					
現場管理費					
一般管理費					
端数処理					
計					

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住 所
 商号又は名称
 代表者氏名

【例2 ×無効となる例】

見 積 内 訳 書

工事番号	22 契 第 1 号	工事等名	○○○○○外 2 路線舗装工事		
工 種 ・ 種 別 等	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考 (細 別 内 訳 等)	
○○○○○線	1.0	式		・ 路線ごとの1式記載しかないため無効となります。	
△△△△線	1.0	式			
×××××線	1.0	式			
直接工事費計					
共通仮設費					
現場管理費					
一般管理費					
端数処理					
計					

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住 所
 商号又は名称
 代表者氏名

施工箇所が複数の工事の記載例

【例3 ×無効となる例】

見 積 内 訳 書

工事番号	22 契 第 1 号	工事等名	○○○○○外2路線舗装工事		
工 種 ・ 種 別 等	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考 (細 別 内 訳 等)	
○○○○○線					
舗装工	1.0	式		・路線ごとの1式記載がなく、また直接工事費における工種内訳の記載も3工種以上ないため無効となります。	
区画線工					
△△△△線					
舗装工	1.0	式			
区画線工					
×××××線					
舗装工	1.0	式			
区画線工					
直接工事費計					
共通仮設費					
現場管理費					
一般管理費					
端数処理					
計					

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住 所
商号又は名称
代表者氏名

【例4 ×無効となる例】

見 積 内 訳 書

工事番号	22 契 第 1 号	工事等名	○○○○○外2路線舗装工事		
工 種 ・ 種 別 等	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考 (細 別 内 訳 等)	
舗装工	1.0	式		・路線ごとの内訳の記載がないため無効となります。	
区画線工	1.0	式			
雑工	1.0	式			
直接工事費計					
共通仮設費					
現場管理費					
一般管理費					
端数処理					
計					

- 注1 見積内訳書の合計額と入札書の額は一致するようにして下さい。
 注2 金額は1円単位まで記載して下さい。
 注3 値引き等については記載しないで下さい。ただし、千円未満については端数処理を行っても差し支えないこととします。
 注4 同様の内容が含まれていれば独自様式による提出でも構いません。

住 所
商号又は名称
代表者氏名